



板橋区労働組合連合会
〒174-0053板橋区清水町70-10
TEL 03-3964-9351
FAX 03-3964-9352

板橋区労連



事態は深刻！解決は政治と行政の責任で！
4・22「何でも相談会」
議長 広瀬 憲義

板橋大運動実行委員会は4月22日に、「雇用とくらし・医療・介護を守れ！4・22板橋怒りの地域総行動」として2月25日に引き続き、第2弾「何でも相談会」を成増アクトホール自由広場で午前10時から午後4時まで実施しました。このような「板橋怒りの総行動」は、区内の多くの団体と労働組合が共同で1997年から取組まれてきました。

これに先立ち20日、19団体235名でピラ7007枚・ティッシュ7245個を区内22駅頭宣伝で配布しました。相談会当日は、10時前から前日に貰ったピラを握り開会を待っている人も数人いるなか相談会が開始されました。「なんでも相談会」には、弁護士・医師を含め30人が対応し、47件（翌日の2件を含めて）の相談を受けました。

その一部を紹介します。「赤羽の工場で3年、昼夜二交替のアルバイトをしていたが身体が続かず止め、その後、期間工で倉庫作業をしたが続かず、昨年の夏からホームレス状態で成増駅周辺の公園で寝泊りしている。所持金は友達に借りた1万円。助けてほしい」「生活保護を受けているが、働きたくても仕事がない」「労災は認定されたが病院へ行く交通費がない」「夫のうつ病と暴言に悩んでいる」「妻とは離婚子供は養護施設に預けて、自分は車上販売で1日2000円から3000円の売り上げで住むところがなく車中生活」「息子が携帯の有料サイトを利用したらしい、脅かされ大学の授業料から200万円払ってしまったが、戻らないか？」「年金を

払っていないがどうすればいいの？」「借金があまり生活が苦しい」「仕事になかなか見つからない」「どうしたらいいの？」「仕事がなくなり、サラ金の返済に困っている」「昨年8月まで、ビル清掃の仕事をしていたが、イジメをやめた。今は貯金の残高が19万円。福祉事務所は貯金があり病気がないから生保は受けられないと言われた」「会社の寮でゴミの処理を辞めさせられた。現在は路上生活」「賃金の未払いが続いて生活できない」「解雇の不安がある。12年間働いているが昇給・ボーナス・年休もない。雇用保険もかけていない。やめてもいいが退職金代わりに一定のお金がほしい」「ある政党の秘書をやらないかと誘われて働いたが、約束した賃金をもらえない。詐欺ではないか？告訴する気はないが賃金を払ってほしい」など、多種多様な相談が寄せられました。各団体の相談員は、相談を受けながら、路上生活者など急を迫られる人はその場で福祉事務所へ連れて行くなど、その他の相談は引き続き対応しています。

全体を通して、30代、50代位の人は仕事の不安定、生活苦、精神不安定、仕事が安定しないという苦のスパイラルから抜け出せない人も前回の相談会同様多く見受けられ、60代以降では一人暮らしの相談者が最も多く、暮らしの中で相談できる人がいなく問題が大きくなり、不安をつのらせていると感じました。この2回にわたり実施された相談会で、人が人として生きるために必要な最低限のことが補償されない深刻な実態が明らかになっていきます。私たち労働組合としても、何のために、誰のために存在しているのかを改めて自らに問わなくてはなりません。

平行しての行動では、午後1時から区役所前宣伝行動と坂本区長宛の「派遣労働者・期間工労働者の首切り反対、消費税増税反対、区民のくらしと仕事・雇用を守る区政を求める請願書」を提出し、板橋区の総務部長をはじめ関係部署の責任者と懇談を行い、行政の積極的な対応を求めました。

引き続き、労働者・労働組合が地域に結集し、「なくせ貧困、守れ雇用、生活危機突破」で現状を変える社会的世論と要求実現にむけた共同の行動を地域から大きくつくり、消費税増税反対、区民のくらしと雇用を守る政治を實現させるために闘うことが求められています。

「年金を戻らないか？」

「年金を戻らないか？」

「年金を戻らないか？」

「年金を戻らないか？」

「年金を戻らないか？」

「年金を戻らないか？」

忘れられないコラム
新聞のコラム欄でも忘れられないものがあります。そのひとつを紹介いたします。都立七生擁護学校の性教育についての裁判のコラムです。
「過激だ」と決めつけて攻撃した自民・民主の三人の都議の行為が、「政治的な介入・干渉」として東京地裁で断罪されました。都議たちは同校の性教育を非難し、二人の擁護教諭に「感覚がまひしているよ」といった暴言を浴びせかけました。擁護教諭は「人権を無視したような発言が多く、心を打ち砕かれて、涙をこらえながら私は立っていた」と証言しました。同校の性教育は、性的問題行動が起きたのがきっかけで始まり、障害のある子どもたちが性犯罪の被害者や加害者にならないようにしようとして教師たちは教材を工夫してきました。しかし、判決後民主党の都議は自身のホームページで「女の涙を知らない裁判官が判決を書く」とこんな程度のものになる、「過激性教育が駆逐されたことを考えると（賠償金は）コストとして安い」といってはばかりません。子どもが体や性について学ぶ権利を奪い、裁判で賠償を命じられても「安い」といってはばからない。このまま許してはなりません。
(Y・T)



第37回

城北ハイタク交流会と北部ハイタク共闘会議 「裁判員制度」合同学習会 17団体47名参加で開催

3月28日(土)板橋グリーンホールで「城北ハイタク交流会」と改名後初の学習会を、



「裁判員制度」をテーマに、北部ハイタク共闘会議と初めての合同学習会を、都民総合法律事務所の上野聡弁護士を講師に迎え開催されました。学習会には17団体47名が参加し、2時間あまりにわたり行われました。裁判員に指名され、裁判員になるまでにどのような過程を踏んで行くか、現在の刑事司法制度についての問題点や注意点を話し頂きました。



質疑応答では、職場での労使問題などの質問にも的確なアドバイスを頂きました。



(自交総連グリーンキャブ労組板橋支部
塚本 健一郎)

ホッとコーナー



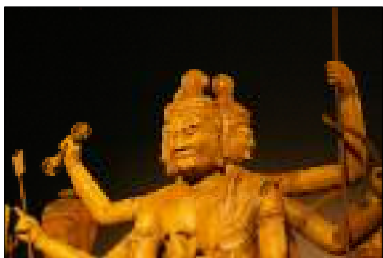
のんびりと 上野国立博物館巡

時々、博物館や美術館巡りをして楽しんでいたら、良い情報を手に入れた。上野国立博



物館にはパスポート(四千円)があり、そのパスポートは平常展は一年間、特別展は年6回の入場が出来るといふものだ。そして、入場できる博物館は上野国立博物館だけでなく京都・奈良・九州の国立博物館の平常展・特別展も上野国立博物館と同じ内容で入場が出来るといふ。そこで早速、上野国立博物館で6月7日まで開催されている『阿修羅展』を観に行きパスポートを買った。

特別展の『阿修羅展』は始まったばかりで50分待ちの大混雑だったので少し期間をおいて来ようと思つた。平常展を見学した。平常展でも仏像・陶芸・絵画・彫刻など本や教科書で見た絵画などの本物にも会えたり、国宝展示の部屋があつたりして楽しかった。また、運の良いことに丁度『黒田清輝展』をやつていて代表作が観られて良かった。これからは、時間もあつたらぶらりと上野公園



に行き、上野国立博物館を観て、たまには国立科学博物館や西洋美術館などにもよつて楽しみたいと思つている。

(都教組板橋支部
鈴木 真夫)

春闘勝利! 板橋春闘共闘お花見集会開催



4月3日(金)板橋区立見次公園集会所で、板橋春闘お花見集会が32団体80名参加で開催されました。

広瀬議長が開会の挨拶に立ち、見頃を迎えた桜の感想と「春闘を勝ち抜き、国政や都政を変えよう」と決意を述べました。乾杯の後、約80人の参加者はブロックごとにテーブルを囲み、飲み物や色とりどりの料理を楽しみました。この日のために休みを取り、公共一般・福保労の皆さんが朝から準備し料理を用意しました。メニューは、毎年恒例の旬の食材ナンパーワン若



竹煮、ニシンと落高野豆腐の炊き合わせ、豚汁、鯖の南蛮漬、鶏もも肉のみそ漬、北海道お取り寄せシヤガバターなど9品。他に差し入れのお寿司、刺身、枝豆など、食べ物の豊富さに参加者は大満足でした。酒やビールの差し入れもあり時間内に飲み尽くせないほ



腕に頼りかけた料理です!



ビンゴ~!一番の湊さん

どでした。20分ほどの歓談の後、ブロックごとに参加者の紹介があり、全動労争議団の訴えや新加盟のJMIU集塵支部の紹介がありました。そして、今年の出し物は、公共一般組合員の館山さんの新日本舞踊と東京土建本部より溜口さんのギターを



集塵装置支部の皆さん



タメさん素敵ー!



さすがに名取りの踊り!

弾きながら歌を披露して頂きました。最後は、ビンゴゲームで大いに盛り上がり団結がなばるつで閉会となりました。今年の集会は桜の咲く時期にやる事が出来楽しく、活気溢れる会となりました。

(都教組板橋支部
斉藤 孝一)

御礼
準備に携わった皆さん、差し入れをして下さった労組・個人の皆様ありがとうございました。